

～音楽で地域を結ぶ～

音楽を通して地域とつながる 地域連携推進活動

お問い合わせ

昭和音楽大学 昭和音楽大学短期大学部
企画広報部 地域連携推進室

〒215-8558 神奈川県川崎市麻生区上麻生1-11-1

TEL 044(953)1121(代表) FAX 044(953)1311

Mail lifelong@tosei-showa-music.ac.jp

<https://www.tosei-showa-music.ac.jp>



音楽を通して地域とつながる

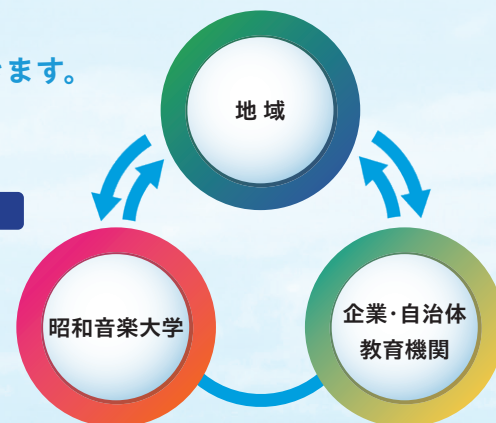
昭和音楽大学は、音楽を軸に地域とともに活動し、連携を深めています。

地元産業界*とコミュニケーションを深め、
様々な活動に努め、地域社会の発展に貢献していきます。

*地元産業界＝神奈川県に所在する企業・自治体・教育機関等

音楽と地域社会がつながる活動

- 地域で学び、地域で実践する活動
- 自治体や企業と連携する活動
- 地域とともに連携・協力する活動



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGs 活動の推進

持続可能な社会の実現に向けて、“音楽と社会がつながる”取り組みを実施しています。
音楽を通して地域社会に貢献していきます。

国連大学SDG大学連携プラットフォームへ加入

「国連大学SDG大学連携プラットフォーム (SDG-UP)」は、持続可能な開発目標 (SDGs) の達成に向けて、国連大学と日本の大学が連携し、高等教育におけるSDGsの取り組みや人材育成を強化し、取り組み成果を国内外に発信するために、国連大学サステナビリティ高等研究所 (UNU-IAS) により設立されました。

action 01 地域で学び、地域で実践

アーツ・イン・コミュニティ・プログラム ～音楽を地域に届ける～



音楽大学と地域との連携を目指した本学独自のプログラムです。
授業の一環で学生が音楽を軸に地域貢献と自身の成長を実現する“地域と共に育つ”人材の育成を目的としています。

【具体的な活動】

小学校では、出演学生が演奏だけでなく、台本・演奏・トーク等の日頃の学修成果を発揮し「世界一厳しい聴衆」である子ども達に楽しんでもらうことができました。高齢者施設では、童謡からオペラ作品まで幅広いプログラムを披露し、その歌声で聴衆を魅了して大喝采に包まれました。



本学の地域連携活動の詳細はウェブサイトで公開

昭和音楽大学公式ウェブサイトで、社会・地域との連携について様々な取り組みを紹介しています。



公開講座の実施

地域社会に“開かれた大学”を目指し、音楽大学の特性を活かした様々な講座を大学の教育資源を活用して開講しています。
音楽の教養を高める講座、専門技術の向上を目指す講座、講義と演奏が楽しめる講座など多岐にわたります。



楽器づくりのワークショップ

地域で暮らす親子を対象に「かんたん」「楽しい」「音が鳴る」手作りの楽器作りを体験してもらい、身近に音楽に触れる機会を提供し、情緒や感性を育むなど、子どもの健全な育成につなげることを目的としています。これまでに川崎市麻生区・川崎市アートセンターとの連携事業として開催しました。



音楽とこころの発達相談室 “ムジカ・バンビーノ”

2022年に麻生区後援事業として開室しました。地域で暮らす子どもの健やかな成長を支援しています。0歳～8歳までの子どもを育てる保護者の方を対象に、子どもの発達に関するミニレクチャーと相談会を行っています。音楽療法士・保育士などの資格を持つ本学教員・卒業生・大学院生が対応しています。



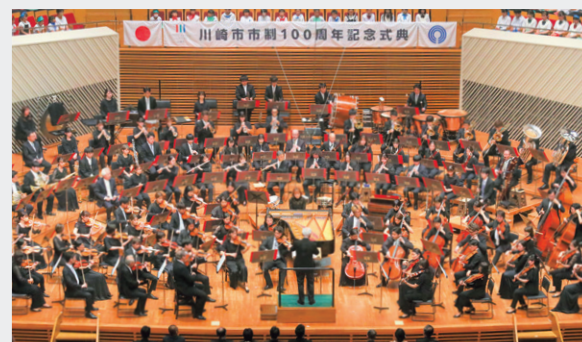


川崎市

《川崎市市制100周年記念式典での演奏》

川崎市は2024年7月1日に市制100周年を迎え、歴史的な節目に市制100周年記念オーケストラがこの式典のために約120名のメンバーで特別に編成されました。本学学生もこのオーケストラのメンバーとして、市にゆかりのある曲を演奏しました。ホールで一体となって市制100周年を祝うとともに、「多様性」が「可能性」であることを感じられる特別なシーンとなりました。

川崎市：川崎市市制100周年記念式典



麻生区・大学

公学協働ネットワーク

川崎市麻生区と本学を含む近隣の大学が協定を締結し、地域社会づくりに貢献することを目的に、地域に根差した事業協力を行っています。以下は、本学と麻生区が共催で行っている取り組みです(2024年度実績)。

《昭和音楽大学吹奏楽団ファミリー演奏会》

本学学生の学修成果発表(演奏会)の機会を、地域の子どもとその保護者に本格的な音楽に触れてもらうことを目的として開催しています。「子どもが飽きないよう風船を飛ばす演出もあり楽しめた」と、来場者より感想が届いています。



《交流コンサート「音楽の贈り物」》

毎年12月に地域の小学生とその家族を対象に開催しているコンサートです。本学学生が、カリキュラムの一環として、計画・企画から関わり、演奏や司会・飾付などすべてを担い、音楽だけでなく来場者が楽しくなる雰囲気も工夫しています。



《音楽療法特別講座》

「音楽とウェルビーイング」をテーマにした、演奏も聴ける音楽療法の導入講座を2023年度より開講しています。専門的な知識がなくても習得しやすく、日常に活かせる内容です。家庭や地域活動の場で活かせ、区民が参加しやすい講座です。



川崎市教育委員会

《市立中学校の文化部活動への支援》

川崎市教育委員会と本学を含む市内音楽大学が協定を締結し、川崎市の文化振興に貢献することを目的に、市内中学校の部活動に対して支援を行っています。

《ジュニア音楽リーダー育成支援事業》

「子どもの音楽活動推進事業」*の一環で、市内の中学校の吹奏楽部生徒へ本学学生が指導を行います。参加した中学生は年齢の近い大学生からの指導や演奏を身近に経験し、吹奏楽の楽しさを改めて感じることができます。学生にとっても技術を伝えることの難しさを体験する、貴重な機会となっています。



株式会社小田急SC

ディベロップメント

2022年9月16日 包括連携協定締結

2022年11月に30周年を迎えた新百合ヶ丘エルミロードで開催の記念イベントのオープニングセレモニーにて、本学卒業生4人で構成されるサクソフォーン四重奏団「Adam」が演奏しました。相互協力を図り、まちづくりの分野で継続的に連携・協力し、新百合ヶ丘の魅力向上を推進していきます。



株式会社ジェイコム湘南・神奈川

町田・川崎局

2023年1月26日 包括連携協定締結

本学の歌曲研究所が主催する「歌うことが好き」「聴く人の心に響くうたを歌いたい」とステップアップを目指す高校生のための歌曲コンクールおよびミュージカル歌唱コンクール本選の様子がJ:COMチャンネル「ジモトトピックス」番組内で放映されました。今後も地域貢献や文化の育成や発展に関し連携協力を進めていきます。

公益財団法人
厚木市文化振興財団

2023年4月1日 包括連携協定締結

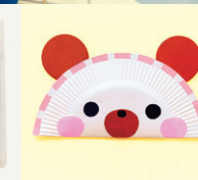
本学は、1969年から2007年まで厚木市内にキャンパスがあったご縁もあり、2024年2月に0歳から参加できる家族のためのコンサート「0歳からの音楽会～歌とピアノのわくわくステージ～」を実施し、声楽アンサンブルの演奏を楽しんでいただきました。今後も厚木市内各所で本学の学生等による様々なコンサートやワークショップを実施し、音楽を届けていきたいです。



川崎信用金庫

2024年5月7日 包括連携協定締結

地域貢献やSDGsのための連携協力活動の一環として、2024年12月に本学学生による「子どもワークショップ」を同金庫の本店で開催しました。2025年2月には同金庫の育児休業中の職員を対象に子どもの発達に関するミニレクチャーを、同年3月には地域の方にも楽しんでいただけるミニコンサートを1階のロビーで実施する予定です。



ワークショップで
手作りした楽器
(左)
オーシャンドラム
(右)
動物タンバリン

action 03 地域とともに

NPO法人しんゆり・芸術のまちづくり

小田急線新百合ヶ丘駅周辺の施設や団体等と連携し、芸術のまちづくりを進めています。本学も同法人主催の「カフェ・グランデ」等のイベントに関わり、積極的に参加しています。



アルテリッカしんゆり (川崎・しんゆり芸術祭)

音楽、映画、演劇、伝統文化等、様々な催しを揃えた芸術祭として2009年に開始、4月～5月に開催しています。毎年20,000人を超える賑いに成長しました。本学は主催団体として関わっています。



写真提供：劇団民藝

「共創芸術家育成制度」の共同制定

学生のグローバルな活動支援と、音楽を通じた地域の魅力向上のため、本学と伸和コントロールズ株式会社は「共創芸術家育成制度」を制定しました。同社は本学のコンチェルト定期演奏会にも協賛、学生ソリストの貴重な演奏機会が拡充されました。

2021年6月制定



しんゆりジャズスクエア

川崎市麻生区の取り組み「しんゆり・芸術のまち」を浸透させるため、ジャズの定期公演を通して情報を配信。「楽しく、気軽に、なつかしく」をキーワードに、「昭和音大ジャズ企画公演」として2014年より毎年出演を続けています。



かわさきジャズ

川崎市を大きなステージと捉え、「多様な文化や人々の記憶に“橋を架ける”」ことをコンセプトとし2015年に開始。本学のテアトロ・ジューリオ・ショウワやユリホルの公演もあり、本学教員、卒業生や学生も出演しています。



© Tak.Tokiwa

しんゆりストリートピアノ (しんゆりステーションピアノ)

「芸術・文化のまち」麻生区の更なる魅力向上や新百合ヶ丘の賑わいの創出を目的として2019年11月にしんゆりステーションピアノが誕生しました。2024年4月に“ステーション”を飛び出し更なる盛り上がりを目指します。



芸術文化・ 音楽施設とともに

本学はその教育資源を活かした指定管理者の一員として、本学関連企業とともに公共施設の管理・運営に携わり、制作面においても、本学教員や卒業生等を中心に、演奏会や公開講座等の開催に協力し、施設が芸術文化の拠点として、地域と連携を図りながらより一層の発展を遂げるよう取り組んでいます。

(左) 川崎市アートセンター (中) カルッツかわさき(川崎市スポーツ・文化総合センター) (右) J:COM浦安音楽ホール



特別企画
「楽器づくりワークショップ」



「魂の救済としての音楽」
～音楽はいかにして人を救ってきたか～



「深読み!」J.S.バッハの無伴奏作品
～歴史の学びと、古楽器と現代楽器の聴き比べ～

しんゆりフェスティバル・マルシェ

本学を含む5団体が幹事会員として設立した「新百合ヶ丘エリアマネジメントコンソーシアム」が、誰もが楽しめる人も街も輝く場所を目指した農と食・アートのあるまちづくりをコンセプトにイベントを運営しています。



「音楽のまち・かわさき」推進協議会

市制80周年の2004年に発足し「音楽のまちづくり」に取り組んできました。2024年に20周年を迎え、20周年記念CM「わたしたち 音楽のまちはたち」では、本学の声楽専攻の学生が歌唱で参加しました。

音楽のまち・かわさき 20th Anniversary



地域を超えた 連携

2001年より北海道新冠町と、2023年より北海道中札内村と本学が連携し、各年齢に応じた音楽体験の交流事業を行っています。本学教員や学生・卒業生が現地の小中学校で、吹奏楽や声楽等の指導をします。児童・生徒より「音楽の面白さ、美しさ、楽しさを学ぶことが出来た」「歌を丁寧に教えてもらい、自分のパートをしっかり歌えた」と感想が届いています。(左) 新冠町 音楽活動体験・交流事業 (右) 北海道中札内村 子どもアートプロジェクト

